

DNP

株主通信

DNP Report vol.71

(証券コード：7912)

特集：「未来のあたりまえを作る。」—さらなる成長に向けて





株主の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また日頃は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

❖ 成長に向けた取り組み

いまDNPを取り巻く事業環境は、デフレや雇用情勢の悪化、海外景気の一層の減速が懸念されるなど、厳しい状況が続いています。その中で私たちは、「新製品・新事業開発の推進」「グローバル展開の加速」「事業構造改革の徹底」という成長戦略に基づき、将来の事業拡大に向けて、具体的な取り組みを進めています。

例えば、紙の書籍と電子書籍の両方に対応したハイブリッド型総合書店のサービス拡大や、強みを持った企業とのアライアンス、東南アジア市場でのパッケージ事業などに力を入れています。また、組織の再編や業務プロセスの見直しなどを図り、市場の変化に対応した効率的で利益志向の高い生産体制の確立にも注力しています。厳しい事業環境においても、直面しているさまざまな課題の一つひとつに真摯に向き合い、的確な解決策を提供していくことが、社会とDNPの成長につながると私たちは考えています。

❖ “あたりまえ”を実現してきたDNPの挑戦

私たちは常に、「社会のために何ができるのか」「よりよい社会にするために何をするのか」ということを念頭に置いて、事業を展開してきました。DNPは、明治9(1876)年に活版印刷という当時の最先端技術とベンチャー精神をもって創業して以来、新しい製品やサービス、革新的な仕組みを生み出し続けてきました。創業時の舎則に掲げた「文明の業を営む」という言葉は、人々の暮らしや社会の発展に貢献していくという強い志であり、今も「DNPスピリット」として受け継がれています。

今ではあたりまえとなった週刊誌や電子辞書、ICカードやプログラムなどの誕生にも、DNPの強みである印刷技術が大きな役割を果たしました。また、食品や日用品向けの機能性の高いパッケージ、天然の木目や石目の風合いを再現した傷のつきにくい建材、クリーンエネルギーに必要な各種電池用部材など、身近な多くの製品にDNPの技術やノウハウが活かされています。私たちは、このように印刷技術の強みを発展させる挑戦を通じて、これらの“あたりまえ”を実現してきました。

❖ 「未来のあたりまえを作る。」

DNPはこれまで、B to B(Business to Business)を中心として、主に企業のニーズに応えてきました。今後はそれに加えて、DNP自らが主体となり、生活者の視点やソーシャルな視点に立って、国内だけでなく世界全体の課題を解決していくことが大切だと考えています。

人や社会から求められるものを的確に提供し、いつしかそれが社会の仕組みとして日々の暮らしに定着していく。私たちDNPは、このような「未来のあたりまえ」を作り続けることによって、収益性を高め、持続的な成長を実現していきます。

この株主通信「DNP Report Vol.71」では、こうした「未来のあたりまえを作る」取り組みについて、ご紹介いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

北島義俊

起こりうる未来のシナリオはさまざまであり、未来を正確に予測することは困難です。しかし、生活者の視点、ソーシャルな視点、グローバルな視点に立って課題を明確にし、それを的確に解決することによって、多くの人々が望む未来の実現に、自らが参画していくことは可能です。

右の図は、想定される多様な未来の中のワンシーンです。例えば近い将来、少子高齢化の進展による再生医療や遠隔地診断のニーズや、より多くの人々がストレスなく使用できるユニバーサルデザインに配慮した製品へのニーズが高まっていくと、DNPは考えています。また、安心・安全に情報をやり取りできる高度な情報セキュリティも重要であり、地球環境への配慮やエネルギー負荷の軽減なども欠かせません。

このような社会のニーズに対してDNPは、印刷技術などの強みを応用・発展させて、最適なソリューションを提供する取り組みを続けています。私たちはこれまでも、雑誌や書籍はもちろん、ICカードやホログラム、食品や日用品のパッケージ、心地よい住宅やオフィスの内外装材など、すでに「あたりまえ」になっている製品やサービスを提供してきました。これからも、生活やビジネスのあらゆる場面で必要とされる「未来のあたりまえ」を作り続け、社会に貢献していきます。

高齢社会にも対応した Quality of Lifeの向上

きめ細かい課題解決を グローバルに 展開

スマートハウス
& スマートシティを
支える技術&ノウハウ

誰もが使いやすい ユニバーサル デザイン

装着型の情報端末と
ICタグで、生産者や
産地の情報を表示

見る人に合わせて
おすすめ商品が変わる
サイネージショップ

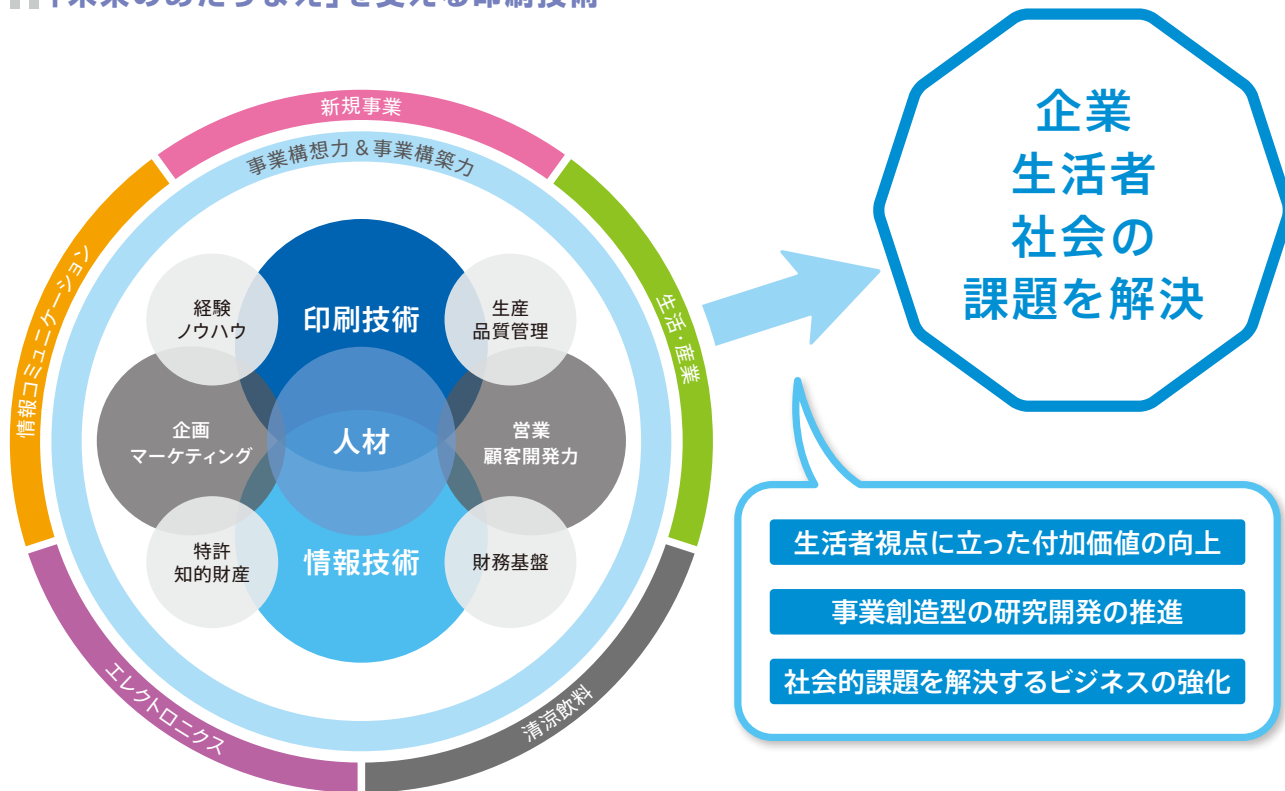
オフィスに必要な
電力は屋上や
壁で生産

オフィスセキュリティで
入退場から
機器の使用まで安心に

快適なコミュニケーション 最適なコンテンツ & メディア & 情報セキュリティ



❖ 「未来のあたりまえ」を支える印刷技術



DNPが強みとする印刷技術は、紙にインクを定着させるいわゆる「印刷」に限らず、さまざまな分野への応用、展開が可能です。例えば、紙ではなく、プラスチックフィルムや金属に印刷することで、包装や建材などの事業に進出し、高機能な環境配慮製品へのニーズにも対応しています。また、ディスプレイや電子機器に必要なエレクトロニクス製品も数多く開発してきたほか、電池用部材などのエネルギー分野、再生医療用の資材などのライフ

サイエンス分野などにも事業領域を広げています。

印刷技術のほか、情報技術や企画・マーケティングのノウハウ、営業を中心とした顧客開発力、高い品質を生み出す製造の力などを駆使して、DNPは企業、生活者、そして社会が抱える課題を解決し、「未来のあたりまえ」を作っていきます。

具体的な取り組み事例

快適なコミュニケーション

最適なコンテンツ&メディア&
情報セキュリティ

生活者や企業のコミュニケーションにおいて、最適な情報メディアで、望むコンテンツを安心・安全にやり取りしたいというニーズが高まっています。DNPは、紙とデジタルの“ハイブリッド”なメディアとコンテンツに対応してきた強みと、ICカードやホログラムなどで培った情報セキュリティの強みを活かし、快適なコミュニケーションを実現します。



リップマン型ホログラムカード

特殊な材料や製造プロセスを必要とするリップマン型ホログラムを、ICカードに挟み込んで製造することで、より高い偽造防止効果を実現。

持続可能な 環境&エネルギー

DNPはモノづくり企業として、地球環境との共生をたえず考えています。あらゆる分野で環境に配慮した製品を提供しているほか、製造時の環境負荷の低減にも取り組んでいます。今後は、太陽電池やリチウムイオン電池用の部材、建材製品などの強みと実績を活かして、スマートシティやスマートハウスでの事業拡大にも注力していきます。



高反射光拡散エリオ(金属パネル)

表面に特殊な処理を施すことで、蛍光灯やLEDの光を拡散させ、空間の隅々まで光を届ける省エネ型壁面用パネル(写真右側)。

高齢社会にも対応した Quality of Lifeの向上

健康や医療についての課題をはじめ、Quality of Life(生活の質)の向上が、ますます大切なものとなっています。DNPは、これまでに培った情報技術を活かして、電子カルテシステムや遠隔地診断などのソリューションを提供していきます。また、毛細血管の再生や細胞パターンの培養など、ライフサイエンス分野の事業もさらに上げていきます。



CytoGraph(サイトグラフ)

印刷技術を応用した再生医療用細胞シート培養フィルム。ガラス表面に細胞を接着させない領域をパターン状に形成し、細胞の増殖をコントロールする。

第1四半期決算のご報告 (平成24年4月1日から平成24年6月30日)

連結業績の概況

(単位:億円)

科目	当第1四半期	前第1四半期
売上高	3,529	3,703
営業利益	25	74
経常利益	38	110
四半期純利益	△42	43

連結業績の予想(平成25年3月期通期)

(単位:億円)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
15,800	480	470	175

1株当たり当期純利益27円17銭

ポイント解説

情報コミュニケーション部門は、雑誌が減少したものの、書籍およびカタログやチラシが増加したほか、ICカードが好調に推移しました。生活・産業部門は、環境配慮製品が増加した住空間マテリアル関連および包装関連は前年を上回りました。同部門の産業資材関連は、エネルギー関連部材が増加しましたが、薄型ディスプレイ用反射防止フィルムが減少しました。エレクトロニクス部門は、液晶カラーフィルターやフォトマスクが減少し、前年を下回りました。清涼飲料部門は前年を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間のDNPグループの連結売上高は3,529億円(前年同期比4.7%減)、連結営業利益は25億円(前年同期比65.6%減)、連結経常利益は38億円(前年同期比65.6%減)、連結四半期純損失は42億円(前年同期は43億円の純利益)となりました。

部門別の状況

印刷事業



書籍



デジタルフォトプリンター「DS-RX1」



高精細カラーフィルター

清涼飲料事業



清涼飲料

情報コミュニケーション部門

売上高	1,775億円
前年同期比	2.9%増
営業利益	37億円
前年同期比	107.8%増

生活・産業部門

売上高	1,273億円
前年同期比	2.9%減
営業利益	48億円
前年同期比	43.5%減

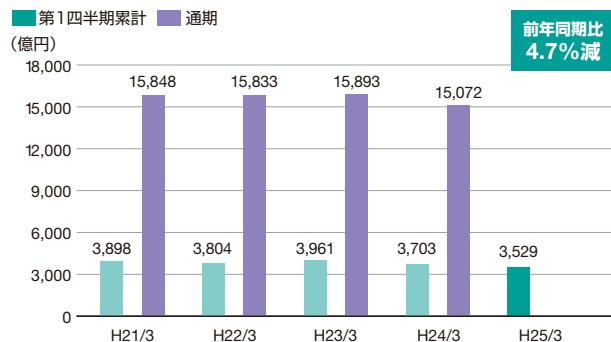
エレクトロニクス部門

売上高	427億円
前年同期比	25.6%減
営業損失	34億円
前年同期は2億円の営業損失	

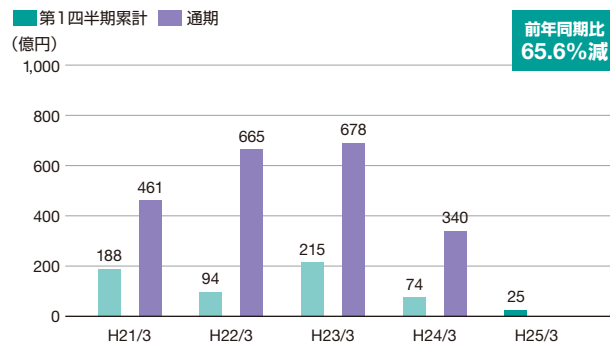
清涼飲料部門

売上高	117億円
前年同期比	1.2%増
営業損失	5億円
前年同期は2億円の営業損失	

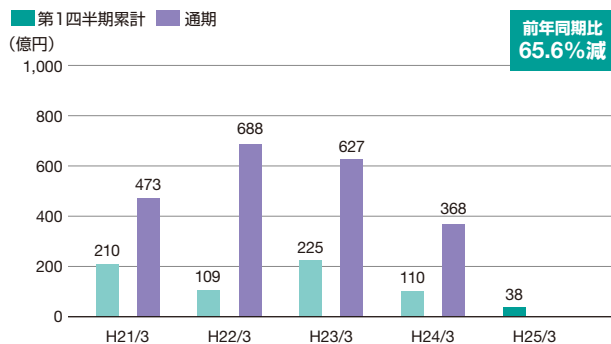
連結売上高



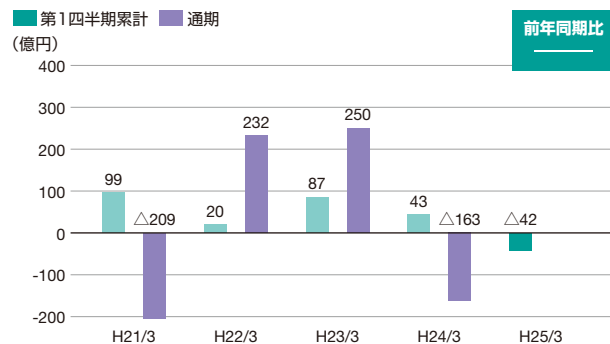
連結営業利益



連結経常利益



連結当期純利益



連結貸借対照表(要約)

(単位:億円)

科目	当第1四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末
資産	15,717	16,088
流動資産	7,515	7,829
固定資産	8,194	8,249
繰延資産	7	8
負債	6,708	6,945
流動負債	4,238	4,431
固定負債	2,469	2,514
純資産	9,008	9,142

配当予想(1株当たり配当金)

基準日	第2四半期末	期末	年間
平成25年3月期 (予想)	16円00銭	16円00銭	32円00銭
平成24年3月期 (実績)	16円00銭	16円00銭	32円00銭

“フォーカスDNP”シリーズ【第11回：ハイブリッド型総合書店「honto」】

ネットとリアルを結びつけ、これまでにないサービスを提供する“本屋さん”

ハイブリッド型
総合書店
「honto」、
本格サービスが
スタート!

hontoカードを使った
ポイントサービス開始!



honto



<http://honto.jp/>

ハイブリッド型総合書店「honto」で 電子書籍と紙の書籍の両事業を活性化

出版コンテンツのデジタル化が進み、電子書籍が普及する中、DNPは出版業界のNo.1パートナーとして、出版市場の活性化に取り組んでいます。電子書店、ネット通販、リアル書店の3つの販売形態に対応したハイブリッド型総合書店「honto」を中心に、生活者が「読みたい本に必ず出会える」「読みたい本を読みたいカタチで読める」というサービスの実現を目指しています。

2010年にスタートした電子書店のhontoサイトでは、コミック、文芸、ノンフィクションなど、国内最多規模の電子書籍を取り扱っています。生活者は、読みたい電子書籍をいつでも、どこでも簡単に入手でき、1台の端末で管理して、外出時にはスマートフォンなどで持ち出すことも可能です。また、読書履歴の蓄積や

検索・メモ・しおり機能の利用などで、新しい読書体験が得られます。

DNPは2012年5月に、書籍のネット通販サービス「^{ビーケーワン}bk1」とhontoサイトを統合するとともに、6月には丸善やジュンク堂、文教堂の一部のリアル書店とも連携して、ハイブリッド型総合書店「honto」のサービスを本格化させました。リアル書店・電子書店・ネット通販で、共通で利用できるポイントサービスもスタートしています。リアル書店で発行する「hontoカード」を使って会員登録することで、hontoサイトだけでなくリアル書店で書籍を購入した際にもポイントが加算されます。このほか、さまざまなサービスを展開し、電子書籍と紙の書籍の両方の事業を活性化させていきます。

電子書籍市場の拡大による生活者、出版社、企業のメリット



出版社のメリット

- 在庫の適正化
- 既存コンテンツの有効活用
- 販売チャネルの多様化

生活者のメリット

- 絶版本や希少本を含む膨大な品揃え
- スマートフォンやPCの活用による読書機会の増大
- 検索、メモ、しおりなどの機能が利用可能
- 読書履歴の蓄積

企業のメリット

- 訴求力の高い次世代広告としての利用
- 電子書籍を入り口とした企業のECサイトとの連携
- 確度の高いマーケティング情報の獲得

ハイブリッド型総合書店「honto」が提供するユニークなサービス

1 電子書籍も紙の書籍も
ワンストップで購入できる

同じ商品ページに表示される電子書籍と紙の書籍は、どちらも購入可能です。電子書籍と紙の書籍を横断的に検索するサービスも利用できます。

2 電子書店とリアル書店で
共通して利用できるポイントサービス

hontoサイトと一部のリアル書店で共通で貯められ、共通で利用できるポイントサービスです。リアル書店の店頭で「hontoカード」を発行しています。

◎ポイントサービス利用可能店舗は、33店舗(9/10現在)。今後も順次拡大していきます。店舗名はhontoのウェブサイト(<http://honto.jp/>)でご確認ください。

3 購入した書籍を
一括管理する「マイ本棚」

購入した電子書籍と、「hontoカード」を利用して購入した紙の書籍の情報を自動的に電子本棚に登録。情報登録だけでなく、レビューや評価などを発信する機能も備えています。

4 リアル書店も含む
日本最大級のランキング

売上総合ランキングのほか、hontoサイトや各リアル店舗でのランキング、ジャンル別ランキングなどを最大100位まで表示。多彩な集計表示も可能です。



❖【5月21日発表】デジタルサイネージと商品棚を一体化した販売什器「モニタナ」を発売



DNPは、40インチのデジタルサイネージ(電子看板)に商品陳列用の棚を付け、映像と商品を組み合わせた店頭販促が可能な販売什器「モニタナ」を開発しました。

「モニタナ」は、商品の大きさや陳列形態などに合わせて、ディスプレイに表示する映像コンテンツや棚の位置を自由に変えられるため、商品と映像を一体化した訴求力の高い店頭販促が可能になります。映像コンテンツとして、カタログやチラシ、ウェブサイトやテレビCMなどに使用している既存の画像や映像などを活用することもできます。棚に置く商品と映像を差し替えるだけで、さまざまなプロモーションに活用できるため、準備時間の短縮やコストの削減につながります。DNPは「モニタナ」をメーカーや流通・小売の企業、商業施設などに提供していきます。

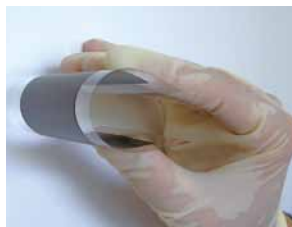
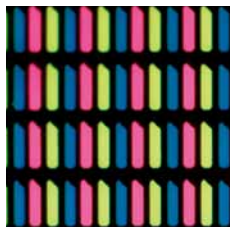
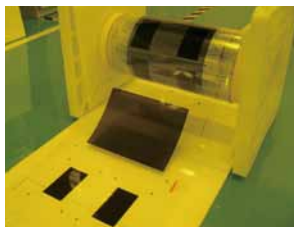
❖【6月5日発表】世界初！フレキシブルガラスを用いたカラーフィルター製造技術を開発

DNPは、曲げても割れにくいフレキシブルなガラスを用いたカラーフィルター製造技術の世界で初めて開発しました。

液晶ディスプレイに搭載されるカラーフィルターには、主に0.5~0.7mm厚のガラス基板が使われています。スマートフォンやタブレット端末など、薄型・軽量が求められる用途では、このガラス基板をケミカルエッチング処理して0.15mm程度に薄くしていますが、工程数が増えるのに加え、さらなる薄板化が難しいなどの課題がありました。これに対してDNPは今回、従来

の10分の1となる厚み0.05~0.07mmの、ロール状に巻かれたフレキシブルガラスを用い、連続的にカラーフィルターを製造するロール・ツー・ロールプロセスの製造技術を開発しました。製造したカラーフィルターは、直径3cm以下に曲げられる柔軟性を備えています。

2014年度の実用化を目指して量産に向けた開発を進め、液晶や有機EL等のディスプレイはもちろん、電子ペーパー、有機EL照明、太陽電池などにも当技術の応用を図っていきます。



(写真左)ロール状に巻かれた基材で製造されるカラーフィルター
(写真中)カラーフィルター拡大図
(写真右)曲げた状態のカラーフィルター

アニュアルレポート、データブック、CSR報告書発行のお知らせ

アニュアルレポート

社長メッセージのほか、特集企画やDNPの概要、業績に関する情報などを掲載しています。



<http://www.dnp.co.jp/ir/>

データブック

過去10年間の財務データや分析指標などを、表やグラフで掲載しています。



<http://www.dnp.co.jp/ir/>

CSR報告書

DNPグループのCSR活動の内容をわかりやすく掲載しています。



<http://www.dnp.co.jp/csr/index02.html>

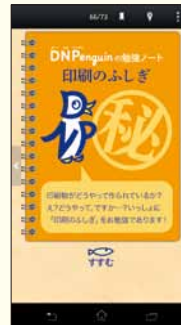
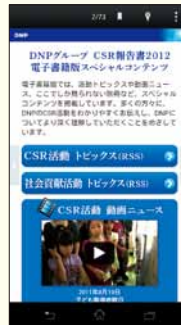
各レポートは、DNPのウェブサイト(上記URL)にてご覧いただけます。

❖ 「CSR報告書2012」の電子書籍アプリを配信 — CSR報告書のAndroidアプリは国内初

DNPは「CSR報告書2012」のAndroid端末、iPhone / iPad向け電子書籍アプリの配信を行っています。企業のCSR報告書のAndroidアプリとしては国内初の取り組みです。

CSR活動に対する社会や生活者の関心が高まっており、企業はより多くのステークホルダーに自社のCSR活動を分かりやすく伝えていくことが求められています。このアプリには、

電子書籍化した「CSR報告書2012」全ページのほか、最新トピックスや動画ニュースなど、アプリならではのスペシャルコンテンツを掲載しています。また、DNPのキャラクターと一緒に印刷の基本原理を学ぶことができるコンテンツも用意しました。親しみやすさと分かりやすさを心がけ、DNPについての理解を深めていただく工夫を凝らしたアプリです。



Android端末向けはGoogle Playで、iPhone/iPad向けはApp Storeで配信しています。

DNPベトナム (DNP Vietnam Co., Ltd.)

成長する東南アジアでのパッケージ事業の拡大を目指して新工場を建設
— グローバル企業に、最適な品質の製品を最適なコストとスピードで提供 —



DNPは、海外事業の拡大戦略の中で、めざましい経済成長が期待される東南アジアを重点的なターゲットのひとつにしています。その取り組みの一環として、ベトナムのホーチミン市近郊に、日用品や食品向けのフィルム製パウチやチューブなどの軟包装について、2012年4月に製造・販売会社を設立し、2013年4月の稼働開始を目指して製造工場を新設します。

東南アジアでDNPは、1972年に設立したDNPインドネシアでパッケージの製造・販売を行っており、現地のニーズにきめ細かく対応してきました。高い経済成長が続き、インドシナ半島の物流拠点としても注目されるベトナムには、これまでインドネシアからの輸出で対応していましたが、今回の拠点新設

によって、東南アジアでの多拠点化による生産能力の増強とリスク分散、納期の短縮を実現します。

DNPは、世界規模で事業を展開するグローバル企業などに、最適な品質の製品を最適なコストとスピードで提供することで、東南アジアでのパッケージ事業を拡大していきます。

会社概要

名 称：DNP Vietnam Co., Ltd.

所在地：ベトナム ビンズン省

設 立：2012年

会社概要

商号

大日本印刷株式会社

英文社名

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

本社所在地および連絡先

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
 電話 03 (3266) 2111 ダイヤルイン案内台
 URL <http://www.dnp.co.jp/>

創業

明治9年(1876年)10月

設立年月日

明治27年(1894年)1月19日

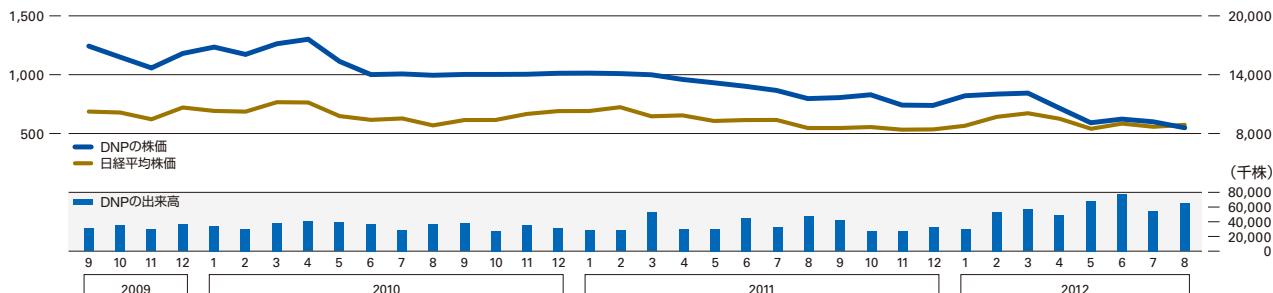
資本金

1,144億6,476万円

株価 / 出来高の推移

DNPの株価(円)

日経平均株価(円)



CONTENTS

株主の皆様へ	2
特集:「未来のあたりまえを作る。」—さらなる成長に向けて	4
第1四半期決算のご報告	8
“フォーカスDNP”シリーズ 【第11回:ハイブリッド型総合書店「honto」】	10
ピックアップニュース	12
世界のDNPグループ③ DNPベトナム	14
会社情報	15



表紙: 丸善 丸の内本店

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。

※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のウェブサイト http://www.dnp.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務に関するご案内

1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 一般口座(証券会社の口座)にある株式
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 特別口座(みずほ信託銀行の口座)にある株式
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほインバスターズ証券 本店および全国各支店
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)

2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
- (取次所) みずほインバスターズ証券 本店および全国各支店

※ 単元未満株式に関するお知らせ

1,000株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

- DNP Report に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社 広報室 〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
TEL: 03-3266-2111 (ダイヤルイン案内台)



グリーン電力を導入しました(年間115万kWh)。この報告書を印刷する際の電力(400kWh)は、自然エネルギーでまかなわれています。



CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号:CV-BS01-030